

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成29年10月19日 (2017.10.19)

【公開番号】特開2016-221394(P2016-221394A)

【公開日】平成28年12月28日 (2016.12.28)

【年通号数】公開・登録公報2016-070

【出願番号】特願2016-197764(P2016-197764)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年9月6日 (2017.9.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

演出を行う遊技機であって、  
 所定領域にて画像表示の演出を行う画像表示部と、  
前記所定領域に配置される複数の可動部材を有し、当該複数の可動部材のうちの 하나가他とは独立した動きの演出を行うことが可能な可動物と、  
 を備え、  
前記複数の可動部材による演出のうち第 1 可動物が第 2 可動物と共に演出は、第 3 可動物とは独立して行うものである、ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明が適用される遊技機は、演出を行う遊技機（例えばパチンコ遊技機 1 0 0）であって、所定領域（例えば所定領域 1 1 4 b, 1 1 4 c）にて画像表示の演出を行う画像表示部（例えば画像表示部 1 1 4）と、前記所定領域（例えば所定領域 1 1 4 b, 1 1 4 c）に配置される複数の可動部材（例えば上アゴ演出体 4、目玉演出体 5、下アゴ演出体 6、頬演出体 7）を有し、当該複数の可動部材（例えば上アゴ演出体 4、目玉演出体 5、下アゴ演出体 6、頬演出体 7）のうちの 하나가他とは独立した動きの演出を行うことが可能な可動物（例えば可動役物 1 1 5）と、を備え、前記複数の可動部材（例えば上アゴ演出体 4、目玉演出体 5、下アゴ演出体 6、頬演出体 7）による演出のうち第 1 可動物（例えば上アゴ演出体 4）が第 2 可動物（例えば目玉演出体 5）と共に演出は、第 3 可動物（例えば下アゴ演出体 6）とは独立して行うものである、ことを特徴とするものである。